

学校名	福島県立石川養護学校	校長	大関 彰久
住所	福島県石川郡石川町字猫啼360-3		
TEL	0247-26-5544	ホームページアドレス	http://www.cms-sekiyo.gr.fks.ed.jp/

地域とともに育つ学校づくり

取組の概要

婦人会、中学校との交流

中学部では、地域の沢田中学校と年間2回、婦人会の方々と年間3回の交流及び共同学習に取り組んでいます。婦人会の方々は、学校の近隣に住んでいる方が多く、校外学習の際に会って話をしたり、“たけのこ”をいただいたりするなど、日常的な交流につながっています。また、沢田中学校生徒とは、小学部と沢田小との交流の経験があるため、再会の喜びもあり、楽しい交流活動になっています。

内 容

「地域家庭交流会（猫啼婦人会）」

婦人会の方々は、地域家庭交流という名称で年間3回の交流を行っています。第1回目は、6月に実施しました。グループに分かれて、けん玉や糸電話、だるま落としなど、昔の遊びを取り入れた交流や一緒にダンスや身体表現を取り入れた交流を行いました。生徒の中にはすぐに婦人会の方の名前を覚えて積極的に話しかけたり、婦人会の方の似顔絵を描いた手紙や首飾りなどをプレゼントしたりなど、とても和やかな雰囲気で行われました。



嬉しそうにプレゼントを渡す生徒

「沢田中学校との交流」

沢田中学校3年生と年2回（平成24年6月、9月）の交流を行いました。活動の前半は、各学級やグループごとに少人数でお互いに親睦を深めます。後半は、体育館で全員での交流活動を行います。今年度の1回目は、スポーツフェスティバル（運動会）で行ったダンスで体を動かし、沢田中学校のリコーダーとハンドベルの演奏を聴きました。2回目は、音楽で学習した『オペラディ・オペラダ』の鳴子を使った身体表現や『ジェンカ』のダンスで盛り上がりました。



一緒にハンドベルを演奏する生徒たち

生徒の様子

婦人会との交流では、生徒が、ビニール傘で手作りしたメリーゴーランドで遠足の様子を再現すると、婦人会の方々から大きな笑い声が響きました。生徒も得意気に元気一杯に体を動かして発表をしました。昔遊びでは、糸電話が人気で、婦人会の方に童謡を歌ってもらったり、けん玉の得意な生徒がみんなの前でその腕前を披露し、婦人会の方にたくさん拍手をもらったりと、生徒たちは、とても満足そうでした。後半の茶話会の中では、次の交流活動について、婦人会の方々からも積極的な意見が出て、生徒たちも期待感が高まっていました。

沢田中学校の交流では、学級やグループでの交流を、2回とも同じメンバーで行いました。1回目は、お互いにぎこちなかった生徒たちでしたが、2回目になるとお互いの顔や名前を覚えたこともあり、積極的に声を掛け合ったり一緒に活動したりする姿が見られました。特に、全体での交流では、本校の生徒から沢田中学校の生徒へダンスの振り付けを教える姿が自然と見られ、お互いを認め合っている感じが感じられました。来年の交流も楽しみです。